

おります。ごみをどのように減量していくのか。それが焼却場の延命にもつながる部分もあるわけでありますので、市といたしましても非常に大変な環境、ごみの焼却施設については、こういった事柄を経験したわけでございますので、やはり全体的に1つの施策をどうのこうのではなくて、私は全体にごみの減量化というものをやはり真剣に考えていかなくちゃいけないと思っております。それにはやはり有料化というものがあるわけなんです、理解されなくて進めていっても、ただ有料で終わったということだけで終わってしまうわけであります。それでは本当の目的に達せられない部分がありますので、本当にごみの減量というものを真剣に捉えた中で、市民の皆様方とやはり共有して、施策を進めていきたいと思っております。やはりごみの減量というものを市民と皆さんと一体となって向き合っていきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

笠原議員。

○11番（笠原幸江君）

以上で、私の一般質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（中村 実君）

以上で、笠原議員の質問が終わりました。

関連質問はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

関連質問なしと認めます。

11時5分まで暫時休憩といたします。

〈午前11時00分 休憩〉

〈午前11時05分 開議〉

○議長（中村 実君）

休憩を解き会議を再開いたします。

次に、田中立一議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田中議員。〔15番 田中立一君登壇〕

○15番（田中立一君）

市民ネット21、田中でございます。

発言通告に基づいて、一般質問を行います。

1、新型コロナウイルス感染症による影響と対応について。

(1) 経済、雇用への影響について。

① 市内事業所における、新型コロナウイルス感染症による解雇・雇い止めの状況と雇用調

整助成金の活用について伺います。

② テレワーク導入・実施の状況と、今後の普及に対する支援についての考えを伺います。

(2) 災害時の避難所運営について。

台風シーズンを迎え、豪雨など自然災害に対し、コロナ禍での避難所設置・運営について「3密」の回避や検温など、対策についての考えを伺います。

(3) コロナ禍における文化・芸術振興について。

新型コロナウイルス感染症の影響で活動が制限され、発表の場を失っている文化・芸術団体ではありますが、県は文化芸術分野を盛り上げるため「新潟県文化祭2020」を開催しました。12月31日までの会期中、動画の配信などを展開しますが、市ではどのように参画を考えているか、考えを伺います。

また学生も、吹奏楽や合唱などの各種大会やコンクールが中止となり、発表や集大成を披露する機会が失われておりますが、練習や代替事業についての考えを伺います。

2、糸魚川市の農業について。

(1) 2020年産米について。

7月は雨が多く、記録的な日照不足となり、8月は残暑厳しく、高温による米の劣化が心配されますが、情報の把握と対策について伺います。

また県とJAは、新型コロナウイルス感染症の影響で主食用米の需要減少が見込まれ、価格下落の危機感から「田んぼ一枚転換運動」を推進しておりますが、市内生産者の取組についての考えを伺います。

(2) 中山間地の農業について。

① 県の中山間地モデル事業について。

県では、経営環境に不利な中山間地に対し、所得保障を定額で助成するモデル事業を、平成29年度から県内3地区ずつ選び行ってまいりましたが、市内では徳合地区が第1期のモデル地区に選定され、今年の3月で助成期間が終了しました。本事業の検証と今後について、どのように考えているのか伺います。

② 薬草・生薬事業の取組について。

当地域は昔から、良質なヨモギなど薬草の採取が盛んで、農家にとって農繁期の合間の重要な副収入にもなっておりました。

高齢化等社会環境の変化に伴い、従事者も減少しているように見受けられますが、一方で生薬栽培を目指す動きもあります。

中山間地の産業として薬草や生薬の栽培、生産の現状と今後について、どのように考えているか伺います。

③ 農地の集積状況について。

2014年度に始まった農地集積バンク事業は、中山間地において苦戦し、担い手の確保が難しい状況のようではありますが、当地の取組と市の考えを伺います。

3、空き家対策について。

7月に、市内の特定空家に認定されている空き家1棟を取り壊す、略式代執行が行われました。市内では空き家が多く存在し、今後も増え続けると予想されますが、空き家の現状と特定空家に認

定されている空き家について、今後の対応を伺います。

#### 4、動物愛護の取組への支援について。

8月11日、12日に上越市内で、動物愛護団体による野良猫増殖地で捕獲した猫に不妊・去勢の手術が行われました。

野良猫増加による住民トラブル防止、殺処分される猫の減少を目的として、2日間で約30匹の猫に手術を行いました。

主催団体の話では「餌づけによる野良猫の増加や、多頭飼育の崩壊に関する相談が多く、多頭飼育の崩壊は高齢、生活困窮といった事情を抱えた飼い主に関係するケースが多い」と述べています。

また「ボランティアも時間、資金、人数の点で限界に来ており、行政主体にボランティアが協力する形がよい」とも報道されていました。

糸魚川市内においても同様の事案や犬などペットに対する飼い主のマナーといった問題も聞かれますが、現状の把握と取組への考えを伺います。

以上、よろしく申し上げます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

田中議員のご質問にお答えいたします。

1番目の1点目の1つ目につきましては、8月28日現在、解雇・雇止めが数件、雇用調整助成金が88社212件、緊急雇用安定助成金が43社105件の申請とお聞きいたしております。

2つ目につきましては、市内でも実施企業があり、今後も普及する見込みであることから、国の支援制度の活用を推奨してまいります。

2点目につきましては、避難スペースでの間隔確保や発熱者等の専門スペースの設置などを適切に行えるよう取り組んでまいります。

3点目につきましては、新潟県文化祭2020を通じて、多くの方から文化・芸術に触れていただけるよう努めてまいります。

また、生徒の音楽活動につきましては、今後、定期演奏会や校内音楽祭などが予定されており、市といたしましても支援してまいります。

2番目の1点目につきましては、農業情報メールでフェーン予測などの気象や栽培管理情報を提供しております。

また、田んぼ1枚転換運動につきましては、需要が減少している酒米生産者を中心に取り組む予定といたしております。

2点目の1つ目につきましては、地区が一体となって活動することなど一定の成果につながったと考えております。

2つ目につきましては、薬草・生薬ともに技術的な課題がありますが、業者と結びついた確実な販売が見込めることから、今後も所得向上に向けた取組を推進してまいります。

3つ目につきましては、目標には及ばない状況となっておりますが、当市のような中山間地においては、集落の維持や農業用施設の維持管理を考えた場合、兼業農家や販売農家も大事ではないか

と考えております。

3番目につきましては、今年度空き家調査を実施しておりますが、前回の調査件数と比較すると増加いたしております。

なお、現在、特定空家はございません。

4番目につきましては、行政とボランティアがそれぞれ連携し合いながら、多頭飼育等の課題に取り組んでいくことが大切であると考えております。今後も各団体と意見交換を行いながら、県とも連携し、動物愛護の取組を進めてまいります。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては、所管の部・課長からの答弁もありますのでよろしくお願いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

雇い止め・解雇、これが数件あったと今報告がありました。6月の時点においては見受けられないような答弁だったかと思えますけれども。

先日、新聞紙上で全国の数がかなり、5万人以上とか5万件以上とかというふうに載ってました。これはハローワークで相談を受けた、そのハローワークでの集計ということで、今の数字もハローワークというふうに話されましたけれども、実際は、もっとじゃあ多くなるんじゃないかなというふうに私は思うんですが、その辺の認識と数件というところなんです。もうちょっと詳しい人数とか、あるいは業種別とかというのが分かったらお願いしたいと思えます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

コロナの関係の解雇ですとか雇い止めにつきましては、あくまでもハローワーク等で手続された方によって分かる件数でありまして、もしかしたら、個人事業主で分からないところでそういうものが起こっている可能性はあります。

あと数件ということにつきましては、ハローワーク糸魚川から頂いとる情報でありまして、具体的なものは非公開ということでお願いしたいとのことでありますので、ご理解いただきたいというふうに思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

金曜日の一般質問でも雇用調整助成金が88社212件、緊急雇用安定助成金が43社105件、こういう数字があったわけなんですけれども、今日もありました。6月の議会で伺ったときは、33社だったか、支給決定額が1,000万円を超えているというふうに答弁を頂いたかと思いません。およそ3か月で3倍に増えて、さらに緊急雇用安定助成金、これも43社あるわけなんです。

もうちょっと詳しく内容が、業種別だとか、あるいは金額だとか、分かればお願いしたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

雇用調整助成金と緊急雇用安定助成金につきましては、当初、9月末までということでしたが、コロナ禍の影響が長引いているということで、国も12月までの延長を決定したところであります。金額的なものにつきましては、雇用調整助成金と緊急雇用安定助成金、合わせて1億3,000万円弱が支給決定されているというふうにお聞きしております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

支給決定が1億3,000万、かなり金額に上ってきているというふうに思います。今ほどの答弁でありましたように、雇用調整助成金の特例は12月まで延長になりました。市のほうでも申請に対する助成制度はありますけれども、それに対する検討はありますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

市につきましても、この雇用調整助成金等をもろうための申請に係る費用の2分の1、10万円を限度として補助する制度がございます。当初、12月28日までの申請期間としており、当初と違いますか今現在、12月28日までの申請期間としておりますが、今、国で延長という決定がなされましたので、その状況を見まして、3月までの延長について検討しているところであります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

雇用調整助成金も緊急雇用安定助成金も、どちらかという企業、事業主のほうへの助成金なんですけど、雇用調整の関係でもう一つ、新型コロナウイルス感染症対応休業支援金給付金、これは労働者のほうに対しての支援金なんですけども、あまりこの情報が流れてこないんですが、この辺の把握というのはどのようにされていますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

休業したにもかかわらず、休業といたしますか企業から休んでほしいと言われたにもかかわらず、

休業補償金がもらえない場合は、個人でも補償金を申請することができる制度ではありますが、この制度の内容につきましては、特段ハローワークからはお聞きしていない状況であります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

聞いていないのは、ないからなのか、それともどうなのか。ちょっと情報を把握する必要もあるのではないかなというふうには私に思いますので、またその辺検討してみて、よろしくお願ひしたいと思ひますし。

私がこういっただことを心配しているのは、今回、延長になりましたけれども、こういっただ制度が切れたとき、本当にこちらの地域の景気や業績が回復まだしてないとき、休業がそのまま失業につながるんじゃないのかなということがちょっと心配なんであります。そういっただことに対する考えというものはございませうでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

市といたしましても、地域の経済を守るため、これまで様々な経済対策を行ってきております。また、さらには国ですとか県で、いろんな制度が出てきておりますので、それらを使っただいで、何とか雇用というものを守っただきたいというふうには考えておりまして、市もこの助成金の申請に当たって、半額10万円ではありませうが、補助制度を設けて助成金が申請しやすいように支援をしているところでありまして、今後ともその動向を見守りながら、新たな支援についても必要があれば検討してまいりたいというふうには考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

どうしても景気の回復は、地方または大企業よりも小規模な事業所のほうが回復は遅れる傾向にありますので、やはりその辺の情報の把握と対応というものをしっかりお願ひしたいと思ひます。

次に、テレワークであります、実施した企業は数社、数社と言いましたっけ、されている企業があるというふうにお聞きしましたけれども、やってみての課題とかそういっただことについて、何か情報はありませうでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

テレワークにつきましては、今現在行われております糸魚川経済団体連絡協議会のアンケート調査の速報ですと、まだ一部の回答ではありませうが、この期間中に13社が何らかのテレワークを実

施したというふうには、回答したというふうにお聞きしております。当地域における課題といたしましては、糸魚川地域、糸魚川市につきましては、基幹産業が製造業ですとか建設業が多いわけですので、その中でテレワークができる業種、事業所というのは限られてくるかというふうに思います。

ただ、全国的にテレワークの動きは加速していくものと思われますので、どのような事務についてテレワークができるのか、また新たな展開が出てくるかと思っておりますので、その辺について、また研究してまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

今後、市内においてもテレワークの普及が進んでいくのかなというふうに思うわけですがけれども、またそれを見越した取組もいろいろ出てくるのかなと。

先日、新聞折り込みに権現荘が出てありまして、テレワークプランというものがありませんでした。非常に私はこれ、今実績はどうか分かりませんが、こういう取組、前向きで大変評価したいなと思うところでもありますけれども。これいつ頃からやっているのか、もしこの辺の概要、あるいは内容等についてお分かりでしたらお願いしたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

このコロナ禍におきまして、全国的にも旅館・ホテル等で空き室を利用したこういう取組が行われてきているというふうに承知しております。この権現荘の取組につきましては、9月1日に新聞折り込みをいたしましたところ、全国から数件お問合せを頂いておる状況であるというふうにお聞きしております。

基本的な内容は、一月単位の契約で、土・日・祝日を除く20日間について、お一人様で朝食、温泉つきで6万2,000円のプランであるということでもあります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

私もこのチラシを見て、改めてホームページ権現荘を見たら載っておりますし、反応がどんなかなというふうに注視していきたいなと思っておりますけれども、市内の同様の業者の中でもこういう動きがもしあれば、何らかのまた必要な支援があれば、あるいは助成があれば、やっていってもらえればいいんじゃないかなと思っておりますが、その辺の考えというのはいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

現時点では、市内の他の温泉、ホテル等からは、こういう情報はお聞きしておりませんが、いずれにしても、W i - F i 環境等が整備されておるところについては、こういう取組が可能でありますし、また今後、いろんな情報、ネットワークの整備というのをまた強化していく必要があると思いますので、そういう市内の観光施設、宿泊施設等で通信環境が脆弱なところがあれば、そういうところも支援をしていく必要があるというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

私の知人も、テレワーカーの知人がいて、どこか在宅で勤務するにはやはりいろいろな課題があってできないから、在宅じゃなくて、ちょっと一歩家を出てやると。例えば図書館に行ったんだけど、図書館では電源が借りられない。やっぱりパソコンを持ち込んで、そういうオンラインのことができる。あるいはミーティングもできればできる。安価にできるとか、そういうものがあれば、またいろいろとこういう面の発達といえましょうか進展があるんじゃないかなど。そういったことでいろんな、これからケースがあるかと思えます。よろしくお願ひしたいと思えます。

それから次に、2番目の災害時の避難所運営についてであります。避難所運営については、新型コロナウイルス感染症対策に配慮した避難所運営のポイントということで内閣府のホームページにもガイドラインが示されております。これはかなりボリュームがありますので、全部いろいろ聞いてると大変ですし、基本的なことでもありますけれども、先ほどの答弁にもありましたが、一応、第一避難所となる指定避難所における受付時でのアルコール等の消毒剤やマスク、それから非接触型の検温などの準備、こういったことはもちろんなんですけれども、感染症対策として、運営スタッフの手袋とかマスク、カップ等、いわゆるP P Eと言われる個人用防具、そういったものの準備というのはいかがなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

小林消防長。〔消防長 小林正広君登壇〕

○消防長（小林正広君）

お答えいたします。

避難所における感染症を考えたときの対策として、今おっしゃったような手指消毒とか検温とかが必要になってきますが、当然それに当たる職員についても感染防護衣を着用するという事で、その数を備蓄し、用意しておるところでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

先ほどの答弁でもありましたが、避難スペースの間隔確保と言われるんですけど、なかなか難し



いところがあるのかなど。そういったことを想定してのシミュレーションや訓練的なものは、されているのかどうか。で、やってみての課題というものはいかがだったのか、その辺の具体的な内容についてお聞かせ願えればと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

小林消防長。〔消防長 小林正広君登壇〕

○消防長（小林正広君）

避難所における間隔の確保ということで、おおむね1人当たり4平米、通常これまでは2平米程度だったのが、4平米ぐらい確保しなさいよと、こういう指針になっております。そのために間仕切りをする段ボールの壁とか、あるいはほかの物質によって間仕切りをする。そういったことも含めて訓練をしております。

また、併せてなかなか間仕切りばかりでなく感覚的に空けるということで、体育館の中をテープを張って、4メートルの間隔ってこのくらいなんだよというところを明示しながら訓練したところでございます。

なかなか実際に訓練をやってみて、その準備に、間隔を取るための準備に結構時間を要するなという部分もありますし、なかなかこれまでどおりの収容人数は、とても入れないなというところも実感としてありまして、やはりそのために、避難するときのために何でもかんでも今までのように避難所に行くのではなくて、やはり知人のお宅に避難するとか、あるいは自宅で待機するとか、そういったことも大事だなということで、そちらのほうの周知も合わせて始めたところでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

やはり今までよりも手間も時間もかかり、今までのようなわけにはいかない。2平米から4平米になったと。ホームページ見ると、まだ2平米のように見えるんですけども4平米になったということで、その辺のことを今度これから住民の皆さんにも周知していくと。各地域には、自主防災組織があるわけですけども、そちらとの連絡、あるいは周知というのは進んでいるのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

小林消防長。〔消防長 小林正広君登壇〕

○消防長（小林正広君）

お答えします。

今、各地区の自治会、自主防災組織等を通して、住民の方一人一人にそういうお話をしていきたいということで、出前講座をしていこうということで予定しております。

ただ、今コロナ禍で、なかなか地区単位であっても集会はなかなか設定しにくいということでちょっと進んでおりませんが、できるところから地区の同意というか、うちの地区でまず役員だけでやろうとか、そういったところからは始めておるところでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

今現在、台風10号、台風シーズンもう今真ただ中であって、コロナ禍でなかなか、思ってもその辺の活動がやりづらいなということはよく分かります。大変でしょうけれども、その辺のこと、またしっかりとやっていただければと思うんですけども。

もう一個、検温で発熱があった方のおられる場合、先ほど別室を用意されるとマニュアルでもそう書いてありましたけども。別室を用意すると、簡単にはなかなか難しいんじゃないかなと。お一人だったら一部屋の確保はあれですけども、複数に上った場合、いろんなシミュレーションがあるかと思いますが、その辺に関する、いわゆる発熱があった場合の対応をどのように考えていますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

小林消防長。〔消防長 小林正広君登壇〕

○消防長（小林正広君）

お答えします。

まず、受付で、避難所に入ってくる前に受付で、まず体温を測る。非接触型の体温計で体温を測る。その段階で発熱をされとるという場合であると、一般の避難者の方とは動線を分けて、別のルートを通して離れた部屋にまず入ってもらうということで動線を分けること。そして、居場所を分けること。これを各避難所ごとに平面図を書いて、こういう方はこっこの部屋に入ってもらんだとか、誰が誘導するんだとか、そういったところまで決めて検討しておるところでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

スタッフの確保も、なかなかこれから大変じゃないかなと思います。今回、質問の中で、新型コロナウイルスの感染、これを気にかけることによって避難をためらうようなことがあってはならないと思うわけでありますので、心配なく避難ができる体制が必要だという観点から、今幾つか伺いました。よろしくお願ひしたいと思います。

次、3番目、文化・芸術振興についてであります。動画の募集は、8月31日で終わったんじゃないかなと思いますけれども、この辺の市内の団体への周知や応募状況というものはいかがだったんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

伊藤文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 伊藤章一郎君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（伊藤章一郎君）

新潟県文化祭2020につきましては、動画の応募については終了しております。

糸魚川市内の周知方法ですが、市民会館のホームページに掲載することと、県からチラシが届いておりますので、施設に設置いたしました。

なお、応募状況につきましては、市で把握している応募団体は2団体ですが、県に問い合わせたところ、もう数団体あるというふうにお聞きいたしました。正確な数字については教えていただけませんでした。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

今後、コロナとの共存の中で、文化活動の再開が順次行われていくわけですが、30日の日に県と県公立文化施設協議会が主催して、講演や練習での3密の避け方や感染対策のポイントを共有する感染対策の説明会、これは県内4会場で行われている中で、30日の日に上越でも行われました。上越一円を相手に、対象にしていると思うんですが、市内からの参加者状況はいかがだったでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

伊藤文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 伊藤章一郎君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（伊藤章一郎君）

市内の参加者ですが、市民会館の職員が1名出席しております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

今後の民間団体、あるいは個人が主催して事業を行う場合の練習や講演、講演会等において、控室、入退場時、席の間隔の取り方、検温や消毒、マスクの着用、こういった課題に対してはどのように指導し、対応していくのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

伊藤文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 伊藤章一郎君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（伊藤章一郎君）

現在、市民会館等のホールにつきましては、座席数の制限を行っております。国の示した基準では50%以下という制限であります。その制限の件を申込み時に説明させていただいたときに、マスクの着用、手指消毒、検温などの説明をさせていただいたところ。また、実際ホールを利用される場合には、定期的な換気もお願いしております。

また、先ほどお話のありました楽屋等の件ですが、なるべく密にならないように団体等の数が多

い場合は、入場時間を別々にして、対応するようにいたしております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

よろしく願いして、糸魚川市の農業について入らせていただきます。

田んぼ1枚転換推進運動、チラシもここに頂いてきましたけれども、酒米を中心に推進していくと。この期間も8月末で終わったかと思うんですけども、酒米をやる背景とか、あるいは市内の取組状況については把握されていますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

猪又農林水産課長。〔農林水産課長 猪又悦朗君登壇〕

○農林水産課長（猪又悦朗君）

お答えいたします。

市内で酒米を対象に今回取り組むということでございますが、これはコロナの影響により、酒造会社のほうで米が不要になったということでございます。ある程度はJAのほうで契約しているところであれば、飲み込めるところでございますけども、今回そういったこともできない状況から、積極的によく利用するという部分で、この制度を利用させていただきまして、今回対応するというところで動いたものでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

酒米以外の品種、食用米への取組も促しているわけなんですけど、そちらへの対応というのはいかがなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

猪又農林水産課長。〔農林水産課長 猪又悦朗君登壇〕

○農林水産課長（猪又悦朗君）

今回、お米を需要の関係で対象となるということでは、市内のJAはじめ主立った農家さんに状況をお聞かせいただいております。その中で、多くのところではこれに乗らずに対応できるというお話を頂いているところでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

それ伺ったのは、結局、非主食米への転換を促しているんですけども、心配されるのは、主食

用米と非主食用米の価格差、それから補助金の内容、それから、それを加えての生産者の収入の違い、それが明確に伝わっているのかなど。その心配があるわけですがけれども、実際はどうなんでしょうか。転換した分も収入は下がらないから推進してると思うんですがけれども、その辺の周知というのはできているんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

猪又農林水産課長。〔農林水産課長 猪又悦朗君登壇〕

○農林水産課長（猪又悦朗君）

お答えします。

当市において、非主食用米ということになりますと、具体的には飼料用米というものを取り組んでございます。銘柄的には「新潟次郎」という食種でございますが、議員の言われますとおり、やはり価格差があるということでございます。具体的には、キロ当たり非主食用米ですとキロ当たり5円、コシヒカリであれば、令和2年であれば約230円ということのでかなりの差がある。これを10アール当たりということになりますけれども、コシヒカリであれば11万7,000円ぐらいの収入が見込めるということもありますけれども、そちらのほう負けないように交付金として交付していると、やっている状況であります。

また、特に「新潟次郎」につきましては、同じコシヒカリ470キロという反収ありますけれども、このままで行ってしまうと9万6,850円ということで、コシヒカリを下回ってしまう。そのために作れば作るほど交付金がもらえるという仕組みになっておりまして、最大で今620キロまで上げれば、12万2,600円ということで、単純ではありますけれども、コシヒカリを超える収入も見込めるというような状況で制度のほうを運用しております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

もう一点心配なのが、今回、仮渡金の発表がありまして、大変大幅にかつてない下げ幅、特に「新之助」、「新之助」については、作期が分散するとかいろんな条件の中で推進してきたわけですがけれども、まずこうなった背景をどのように捉え、これからの戦略の練り直し、見直し、それをしていかなければいけないのではないかと思いますけれども、その辺の考えをどのようにしていますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

猪又農林水産課長。〔農林水産課長 猪又悦朗君登壇〕

○農林水産課長（猪又悦朗君）

お答えします。

「新之助」につきましては、議員のほうから言われましたとおり新たなブランドとして動いてまいりましたが、残念ながら今回大きな減額となったということでございます。課題のほうは、やはり大きなところでは、消費者へのPRが不足しているというお話もあり、特に中京圏や関西圏

では、ほぼ知られていないというような状況があるというふうにも私どもお聞きしてるところでございます。今後はこういったところをしっかりと取り組んでいくというふうにも、県のほうも努めておりますし、私ども市のほうもこういった状況を受けながら、決してこれによって「新之助」の作付の意欲の減退がちょっと危惧されておりますので、そうならないようにしっかりと県と歩調を合わせて、売れるように、また生産者の方々とお話をしていきたいというふうにも考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

次に、中山間地の農業であります。公的サポートモデル事業、先ほど答弁で一体感があって、一定の成果があったというような内容だったかと思えますけれども、これ数年間見ている中で、あるいは県のホームページの評価を見ていってみると、使い勝手のいい公的サポートがあれば、地域の活性化、中山間地であってもいい成果が得られるんじゃないかという例ではないかなど。やはり所得補償というのは、有効な制度に見えるんですけども、その辺をどのように捉えていますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

猪又農林水産課長。〔農林水産課長 猪又悦朗君登壇〕

○農林水産課長（猪又悦朗君）

お答えします。

議員の言われますとおり、そもそもは県のほうで平成29年度から中山間地域の状況を改善する、経営環境の苦しさを補正するという事で、大きな制限なく3年間取り組んでみればどうかということから始まった制度であります。制度は、県が、この制度によってある程度の効果があれば、国のほうへ要望していくということで、現在、国からは令和4年予算要望を見て、要望していくというふうにお聞きしているところでございます。かなりの条件のよい交付金等ございましたので、地域のほうでも積極的に話合いを進められて、しっかりとした取組、話合いが行われ、それによって必要なものを買ったり、整備をしたりということもございます。

こういった制度が、今後、国の予算のことは考えずに広くできるのであれば、こういったことにも取り組んでまいりたいということもございますが、いずれにしても私どものほうでは、第5期の中山間の直接支払いの制度も始まってまいります。こちらのほうも有利な制度になっておりますので、これも含めてしっかりと農業者の方々と取り組んでいきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

今この考えを②、③のほうにもつながっていきます。薬草なんですけども、知り合いの上越の薬草会社、できれば糸魚川の地元の薬草、特にヨモギを使いたいと言っているわけでありまして、非常にニーズがありますし、もともとこの地域は良質なヨモギが採れていて、それも自生であったと

いうことであります。さらに今のような制度を活用したりだとかすれば、いい産業としてなっていくんじゃないかと思うんですけども、現実はなかなか厳しいところがあるようです。値段の、価格の下がっているのもあるみたいなんですけれども、そういう制度の活用によって、こういう薬草の栽培をもっと産業として取り組めないかなと思いますが、考えはいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

猪又農林水産課長。〔農林水産課長 猪又悦朗君登壇〕

○農林水産課長（猪又悦朗君）

薬草ということで、特に当市においてはヨモギという品物が非常に、昔から栽培され、自生しているというところもあり、そういったものを活用してきております。先ほどの産地交付金という制度の中でも、それに制度がありまして、それにつけ足して出している。また、ほかにも山採りということで、山から採ってきて、お年寄りの小遣いにされているという実情もございます。こちらにつきましても、なかなかそういった方が高齢化になってしましまして、お金だけではないのかなというところもございますが、せっかくいい販路もあるということで私ども考えておりますので、そういったところを今後、JA含めて、また改めて研究してまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

ニーズはあるわけでありまして。同じくニーズがあって、取り組んでいるのが、生薬の栽培があります。今、能生地域で生薬、盛んにやっているところがありますけれども、数年前まで、これまでは中国が主な産地として国内のメーカーは中国から輸入していると。だけど数年前からは、様子が変わってきました。価格が上がったりとか品質の問題とか、国内の栽培にシフトしようということで、栽培の指導を始めて、そして上質な生薬を確保しよう。で、生薬協会等もあるわけですけども、そういったところとの連携をしながら、こういうものがあれば積極的に確保して、需要があるんだというふうに押し上がってるわけですね。能生のほうでやってるのは、今、キキョウとセンブリ、これがほぼ絞られて、これから本格的な栽培に入っていくと。

ただ、やはりもう一步、栽培から収穫して金になるまで2年かかるとかいろいろあるわけで、もう一步、公的サポートのようなものがあれば進められるのにというところがあるわけですね。やはりヨモギは転作作物の作物の奨励品種にはなっているんですけども、転作作物、あるいは所得補償、こういうものの制度を活用できないものかなというふうに思いますけれども、その辺の考えというのはいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

猪又農林水産課長。〔農林水産課長 猪又悦朗君登壇〕

○農林水産課長（猪又悦朗君）

現在の薬用食物の栽培、キキョウですとかセンブリ等の栽培につきましても、私どものほうでもお話を聞いているところであります。こちらについて、いわゆる所得補償というお話のところでご

ございますが、大きな私ども国の制度であります、まずは一般的に普及しやすいもの、そして価格がある程度補償が必要であろうというものでございます。そうなった場合に今ほどの薬用植物の栽培のときに、しっかりと皆ができるのか、それと販路の課題等があつて、良い品物を作れば、確かに価格はいいもので引き取っていただけますが、駄目なものという判断をされますと、引き取っていただけないというような難しさもございます。今、これから始まって、実証から、来年度から本格的な栽培になるということでございます。そういった栽培状況を、また私どものほうともお話をさせていただきながら、見させていただきながら、そういった制度に乗れるかどうかを含めて、今後の研究課題にさせていただきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

聞いたところによりますと、非常に反収も、米から比べるといいんじゃないかと。また、手間もそんなにかからない。また、必要な設備というものもそんなにかからない。1つはやはり先ほど、時間がかかるということと、あと販売については指導しながらということで、できればこの辺をクリアできれば広めていきたいと。耕作放棄地の解消の大きな対策になっていくんじゃないかなということで、私も注意しているところではありますが、案外、先ほどの薬草、それからこういった生薬、この地域としては合ってるんじゃないかなと思うんです。もうちょっと何か一押しがあれば、非常にいい中山間地の活性化の材料の1つになり得るんじゃないかなと思うわけでありまして。

全国では、今、この生薬協会との提携は7自治体ということで、本当は8つ目を目指したところ、大火のときにちょうど当たってしまったということで、これはできなかったけれども、今それに準ずるように指導を受けてるし、先ほど言いましたように環境も変わってきて、非常にいい、求められているいい状況になってるというふうに聞いておりますので、今後その辺のところを連携できれば、よろしくお願ひしたいなと思うところであります。

こういったことをやりながら、先ほど集積状況は、糸魚川市は中山間地が多くて、なかなか進まない。無理にできないところは集積はしなくても、こういったところにおいて、あと一歩やれば担い手も生まれて、収入が確保できるというふうなものができるんじゃないかなというふうな期待も寄せるわけではありますが、その辺の考えといいましようか、そういう支援の在り方というものをいま一度お願ひしたいと思ひます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

猪又農林水産課長。〔農林水産課長 猪又悦朗君登壇〕

○農林水産課長（猪又悦朗君）

当地域では、米一辺倒だったという背景の中で、国・県含めて園芸作物ということで、米に寄らない新たな作物を作っていこうというようなことで、今推進がされております。当市としましても農業者の方々の収入、所得が増えればということで、現在、園芸の推進をしているところでございます。

そういった中で、そういった取組がいろいろと広がっていくということは、大変私どもとしても



期待させていただいているところであります。今後、圃場整備も進めているところでございます。そういったところと合わせ持って、そういった取組、法律的な取組やら様々な課題、あればそういったものも課題を解決するというで動いていきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

よろしく申し上げます。

空き家対策であります。今回、略式代執行で行いましたけれども、これは普通、代執行を行った場合は、その費用というものが回収がしたりすることもあるんじゃないかなと思うんですけども、今回その見込みはないように前に伺ったように思うんですが、その辺の概要をちょっとお願いしたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

高野環境生活課長。〔環境生活課長 高野一夫君登壇〕

○環境生活課長（高野一夫君）

お答えいたします。

本来、所有者が除去するのが原則でございますので、そちらのほう所有者がおりますれば、そちらのほうに請求するということになるんですが、今回の所有物件につきましては、全て相続放棄がされておりまして、所有者がいない状態となっていることから、市が略式代執行をしたものであります。

○議長（中村 実君）

田中議員の発言の途中でありますが。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

もう一点、ここで終わるつもりだったんですけども、先ほどの市長答弁で特定空家はないというふうに伺ったんですが、前、同じような質問のときに資料を調べてみましたら、平成28年の対策協議会の資料では、80件特定空家があるような内容だったように思ったんですけども、その辺の違いというのはいかがなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

高野環境生活課長。〔環境生活課長 高野一夫君登壇〕

○環境生活課長（高野一夫君）

お答えいたします。

特定空家につきましては、空家等対策協議会において認定するものでございまして、以前は危険を伴う空き家については、数あったのかもしれませんが、昨年現在、特定空家として認定されてい

たものは2件ございました。そのうち1件は、ご自身、所有者ご自身が除去されまして、それで今回、略式代執行を市が行ったことによりまして、特定空家がなくなったということでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田中議員。

○15番（田中立一君）

ありがとうございました。

以上で、一般質問を終わります。

○議長（中村 実君）

以上で、田中議員の質問が終わりました。

関連質問はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

関連質問なしと認めます。

昼食時限のため、13時まで暫時休憩といたします。

〈午後0時02分 休憩〉

〈午後1時00分 開議〉

○議長（中村 実君）

休憩を解き、会議を再開いたします。

次に、新保峰孝議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

新保議員。〔8番 新保峰孝君登壇〕

○8番（新保峰孝君）

日本共産党の新保峰孝です。

私は、新型コロナウイルス等感染症対策と地域医療の充実について、産業振興について、子ども医療費助成についての3点について、米田市長のお考えを伺いたいと思います。

1、新型コロナウイルス等感染症対策と地域医療の充実について。

(1) 糸魚川市における新型コロナウイルス感染症の影響をどのように捉え、検査体制、医療体制、経済対策等、どのように対応してきたか。

① 医療機関、福祉施設、学校関係者、企業、飲食店等、集団感染しやすい事業者への影響、働く人たちへの影響をどのように把握しているか。感染状況と連携した対応はどのようになされたか。

② 相談体制、PCR等検査体制、隔離・保護施設の確保、入院・病床確保等の医療体制、保健所と開業医・病院との連携、各事業者の対応は、どのようになされたか。